

ANGLE KOBÉ

Suma Beach

August

Photo Mann Kikuchi







ペンギンのお散歩
実施中。

アコマル ベビー

Animal Baby

vol.5

南米生まれのペンギンです

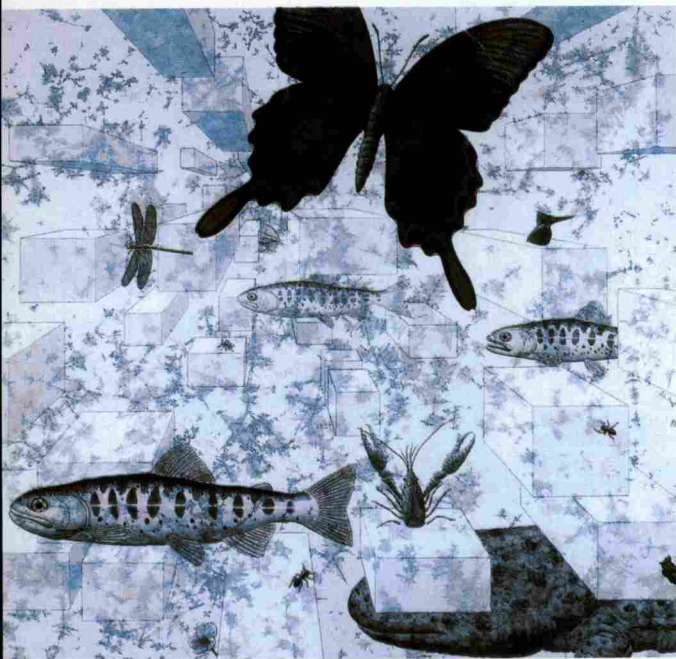
須磨海浜水族園 5月中旬にふ化

マゼランペンギンは、南米チリなど暖かい地域で生息するペンギンです。地下に造られたトンネルや岩石の下などに巣を作ります。写真の左から3羽めが、今年5月にふ化したヒナで、ふわふわの産毛に覆われています。8月頃には、そろそろ産毛も抜け、泳ぎはじめるでしょう。写真右上の2羽は、親子です。親が、自分の食べたエサを吐き戻してヒナに与えています。

須磨海浜水族園では、夏休み期間中、最終のイルカライブの後に「ペンギンのお散歩」を開催しています。今年生まれたヒナはまだ登場できませんが、皆さんのすぐ前をペンギンたちがお散歩します。



飼育員 古田圭介さん



表紙／石阪春生
セカンドカバー／米田定蔵
目次／熱田守「NATURE (14)」

7月号目次◆2004-518

- 10 KOBECCO 2004／レトロ本舗／石本興司
- 12 神戸スナップ
- 14 ある集い／げんきKOBE・春夏秋冬かもネギ百人衆の集い
- 16 ANGLE KOBE／SumaBeach／菊池満
- 18 アニマルバイビー⑤ 王子動物園ベンギン
- 20 文学散歩／横溝正史が生まれた街・東川崎町を歩く
- 26 神戸市資源リサイクルセンター・こうべ環境未来館オープン
- 30 特集／女流建築家鼎談 中川俱子・野崎瑠美・矢代 恵
- 44 木村多恵子の暮しのエスプリ

- 46 神戸のお嬢さん／江本梨奈さん・森玉美穂さん
- 48 瀧殿麻里絵の神戸老舗うまいもん巡礼⑤／焼肉きらく
- 19 ポンソワールマダム⑩／心・柴田さちよ
- 52 KOBE観光マンガt&b②／藤原健二
- 55 私の意見／伊達康一
- 56 ポエム・ド・コウベ／竹中郁・え／小磯良平
- 58 創刊43周年記念復刻版名作シリーズ／淀川長治 他
- 64 特集／神戸で祝う愛と夢 宝塚90周年
- 70 インタビュー／半田健人
- 72 訪問シリーズ／企業変革に学ぶ⑤／メッセユニバース(株)
- 74 でん太の教えてドクター⑪／足立 優
- 76 プロフェッサーPの研究室／岡田 淳
- 78 神戸のアーバンデザイン／山本和代
- 79 神戸のモダンリビング／矢代 恵
- 80 次代を創る神戸のニューリーダー⑫／福井正一
- 84 キラン対談／南部靖之
- 88 話題のひろば
- 92 ひょうごウォーク
- 96 有馬歳時記
- 98 ミセスグリーンを知りませんか？最終回／谷口良平
- 100 ぴっといん
- 102 イベントスケジュール
- 104 ポケットジャーナル
- 108 海・船・港／上川庄二郎
- 110 北斎ミステリー⑨／中右 瑛
- 112 みだら夜話⑨／浅黄斑・え／犬童 徹
- 114 コーヒーカップの耳⑫／出石アカル
え／菅原洗人・題字／六車明峰
- 116 連載小説 鏡の中のサムライ⑧／中野順哉・え／平田郁
- 122 プレゼントメイト
- 123 愛読者サロン
- 126 神戸っ子倶楽部法人会ニュース
- 132 KITANO HOT NEWS
- 134 神戸うまいもん&ドリンクINGNEWS
- 135 神戸百店会日より

写真／米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男



写真右上／わずかに残る川崎造船現在の川崎重工の赤れんがの塀。川崎造船の赤れんがの塀のことは横溝が随筆に記している。写真左／横溝正史生誕碑を建設する予定地。実際の生誕地は、現在は川崎重工の敷地内だ。



■ 神戸文学散歩 Welcome to mysterious KOBE

横溝正史が生まれた街 東川崎町を歩く

野村恒彦(探偵小説愛好会・騎人郷) 共に歩く人 妹尾良子

さて川崎造船所の本社のまへの道をさらに左へすすむと、本社の社屋の果てるところが四つ角になっており、本社と道路ひとつへだてた角が銭湯、銭湯の隣がうどん屋で飯井とあって、その子供が私とおない年であった。飯井のうどん屋のむこうからはふつうの仕舞屋がつづいていて、そこは東川崎二丁目になっていた。つまり私のうまれた家のまへの狭い道が、二丁目と三丁目の境界線になっていたわけである。(角川書店「横溝正史 自伝的随筆集」より)

日本を代表する推理小説作家であり、名探偵金田一耕助の生みの

親である横溝正史氏は明治

三十五年五月二十五日に神戸市

東川崎町三丁目に生まれた。

東川崎町三丁目内で一度転

居された後、同じ東川崎町

七丁目に転居され、そこで

薬局を経営されていたのだ

が、大正十五年に江戸川乱

歩氏の招きにより上京され

て、その後は東京に生活の

写真右上／わずかに残る川崎造船現在の川崎重工の赤れんがの塀。川崎造船の赤れんがの塀のことは横溝が随筆に記している。写真左／横溝正史生誕碑を建設する予定地。実際の生誕地は、現在は川崎重工の敷地内だ。



大正二年卒業生 横溝 正史

七十二翁の執念

探偵小説を書きつづけて五十年余。あるときは情熱の火に身を焦がし、あるときは挫折して冷たい灰となり、しかし、私は不死鳥のごとく蘇ってきた。私は生ある限り謎と論理の結合に、執念の火を燃やしつづけるであろう。嗚わば嗚え。

私は探偵小説一代男なのである。

「個性時代」昭和11月1日
横溝正史の50歳から

「東川崎小学校80年の歩み」より



横溝正史生誕の碑の建設に尽力された
東川崎町自治会・東川崎歴史の会会長の後藤実さんとともに

拠点を移された。しかし氏の作品にはしばしば神戸の名前が登場し、重要な役割を演じていることももある。若い頃を過ごされた神戸のことを思い出されていたのか、地名も具体的に書かれていたりしている。一方、神戸の持つモダニズムは、横溝氏の初期の作品に影響を及ぼしているだけでなく、氏が雑誌「新青年」の編集長として活躍された時にもそれが反映されていたのではないかと考えられている。横溝氏が生まれた神戸は不思議な街で、様々な顔を持っている。また、いろいろな歴史の一場面において重要な役割を担っていたりする。探偵小説に関しても同様な

ことが言えて、江戸川乱歩氏が処女作である「二銭銅貨」の原稿を最初に送ったのは馬場孤蝶氏であるが、馬場氏の講演会を神戸まで聞きに行つたと、江戸川氏の著書「探偵小説四十年」に記されている。場所は神戸図書館の講堂であり、続いての記述に当日は西田政治、横溝正史両君も聴講していたとある。その時には江戸川氏と横溝、西田両氏とは面識がなかったのであった。その江戸川乱歩氏が横溝正史氏と初めて会つたのも神戸である。それは西田政治氏であった。その時の模様も江戸川氏が「探偵小説四十年」に詳細に記述されている。この歴史的な出来

事があったのが神戸であったことも決して偶然ではないように思われる。また、西田政治氏が会長、山本禾太郎氏が副会長を務められた神戸探偵作家クラブもあり、その会合は元町で行われていたのである。高校時代に横溝氏の作品に巡り会い、氏の講談社の全集を読み尽くして（当時は角川文庫からもいくつか作品が出版されていたが、まだ講談社版の全集に収録されていた作品が主であった）、ますます氏の作品の虜になつてしまい、ついには大胆にも横溝氏にファンレターを書くに至つたのである。それからしばらくして、氏から返事が来たときには天にも昇る気持ちであった。手紙には兵庫区にお住まいの西田政治氏を紹介するので会いに行きなさいと書かれていた。もちろん、すぐに西田氏に手紙を書いて、ご自宅までお伺いしたのは言うまでもない。こうしてファン冥利につきることが起つたのであった。



マンションの裏手にひっそりと建つ東川崎小学校跡地の碑。
東川崎小は横溝正史の母校

横溝氏が生まれた東川崎町近辺には、特別の思い出がある。それは大学時代のことであるが、探偵小説ファンとしてはご多分にもれず古書店行脚の日々を送っていた。大学は堺市にあったので、大阪のキタとミナミも行動範囲となり、古本屋に行きまわったといっても過言ではない。もちろん、神戸市内の古書店も活動の範囲内にあるので、三宮、元町と本当に良く通った。新開地の古本屋も例外ではなく、何度も行った。ある時、いつものとおり商店街を湊川公園の方に向かうのではなく、南の方が気になったので、足を延ばしてみると古書店があるではないか。そこで、探求書の一冊を見つけたの

だが、その店は川崎重工業の正門に向かう道に面していた。今から思えば、その店があったところは横溝氏が薬局を開業されていた場所のすぐ近くであり、不思議な縁を感じてしまう。

横溝正史氏の「書かでもの記」には川崎重工業の赤煉瓦の壁のこととが何度も書かれている。一昨年のことであるが、あるところで川崎重工業の赤煉瓦塀の話になった。少し気になったので見に行くとき、おそらく当時のままの姿で確に残っている



横溝も訪れたのであろう松尾福荷神社で、ピリケンさんにお参りをする。

る。しかし、肝心の東川崎三丁目には、残念ながらほとんど川崎重工業の敷地内になってしまつて、生誕地としてのその様子は何うことができなかった。

今まで述べてきたように、探偵小説に大きな熱意を傾けるような作品を書いてくれた横溝正史氏のために、神戸に住んでいる者として出来ることは何かと考えれば、生まれた街としての神戸に氏の生誕地碑を建設したいという思いが起ころのは自然であろう。そうした思いを神戸新聞の平松さんが採り上げてくれて、平成十四年十二月に新聞記事になったのである。

それからは、地元の方が声をかけてきてくれたりして、一気に話が進むようになり、今年の五月にはご子息の横溝亮一氏にあいさつに伺い、いよいよ実現に向けて募金を行おうとするところまでたど

松尾福荷の隣りにある市場内で、ピリケンせんべいを作る宝栄堂。手作業で作られる瓦せんべいのいい匂い





川崎本通りと国道2号線の交差点あたり
に横溝の家が経営する薬局があった。川
崎本通りは、川崎造船と新開地を結び、多
くの人々に賑わった場所だ。



横溝正史と東川崎町



東川崎歴史の会編
「横溝正史と東川崎町」

り着いた。また、地元にお住まいの方の取り組みも非常に熱心であり、今年の春には「横溝正史と東川崎町」という冊子を発行した。碑建設の予定地は東川崎四丁目の公園の近くである。そこからは川崎重工業の赤煉瓦塀は至近距離である。

例えば、高校時代に横溝正史氏の作品と巡り会ったことが、現在に至っても探偵小説の魅力に惹き付けられて、ここまで歩ませてくれたと言っても良いだろう。

残念ながら、横溝正史氏ご本人にはお会いすることができなかつたが、西田政治氏にお会いすることができたことや、その後もいろいろな人に巡り会うことがで

き、自分の今日があると言っても良い。かつては、横溝、西田両氏が歩き回った三宮の古書店、神戸探偵作家クラブの会合が行われた元町。これらのミステリアスな神戸の一面を忘れることは決してできないのである。

今回東川崎町内を探訪するのにお付き合いいただいたのは、先程述べた一昨年の赤煉瓦塀の話が出た時に同席していた妹尾良子さんである。妹尾さんには、わざわざ時間を割いていただきました。心からお礼を申し上げます。

横溝正史先生の生誕地碑に関するお問い合わせは次の住所にお願
いします。

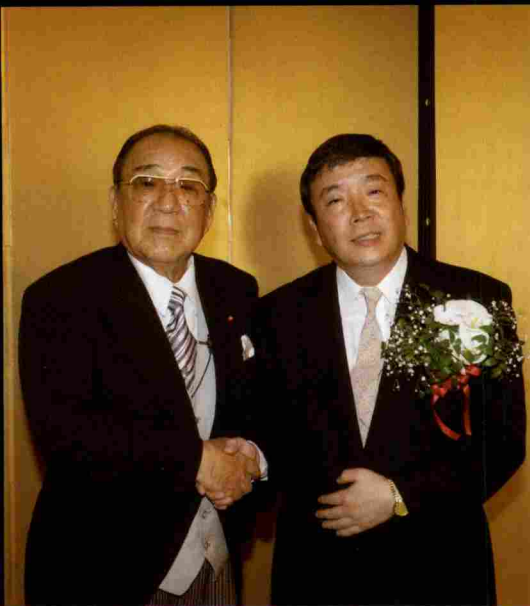
〒六五―一二二七七

神戸市西区美賀多台

四丁目十五の六 野村 恒彦

noraneko@portnet.ne.jp

園田正和氏旭日小綬章受章を祝つて 兵庫信用金庫新理事長園田和彦氏に



↑新理事長園田和彦氏と共に



発起人の皆さんと園田会長と園田理事長

六月二十一日の夜は台風一過。風を呼ぶ男といわれた兵庫信用金庫理事長の園田正和氏は、多年にわたり中小金融の円滑化と、地域経済の発展に尽力された功績により、旭日小綬章を受章。神戸ポートピアホテル偕楽の間において叙勲の祝賀会と、次男の和彦氏に理事長をバトンタッチ。会長就任という見事な二重の喜びを、約七百人の人々と祝った。

発起人は、秋田博正、井戸敏三、鬼塚喜八郎、尾上壽男、小原直作、柏井健一、瀧川博司、野澤太一郎、牧冬彦、道端進、桃井光男、矢田立郎、米田准三、米田徳夫の皆さん。台風のため箱根と滋賀で足留めの方もあつたが、それでも大盛況は園田氏のお人柄。

瀧川発起人代表は「園田正和氏の業界の功績と、人と人とのふれあいを大事にされるお人柄を受け継いで若さとバイタリテイあふれ



↑梅早登さん 梅嘉さんの艶やかな舞姿



↑バイオリンの幸田聡子さん
←ボークル北浪良佳さん
藤田まことさん 原口繪美子さん 親子→



↑華やかな梅志つさんと梅わかさん

可憐な市まめさん→



三宮のきれいどころに囲まれた園田会長

る和彦新理事長に期待します」

道端進京都中央信用金庫理事長は「近畿地区のお世話を永年され、私ども指導を受け、先輩を見習いたい」と。

井戸知事は「中小企業の頼りになる存在だが、これからも地域の中小企業の活性化に尽力をお願いしたい」矢田市長は「50数年の永きに亘って地域を励まし、又復興のためにも尽力頂いた。新理事長には次のステップをめざして頂きたい」

園田正和会長は「人と人とのつながりを手を抜かずに行ってきました。これからも愛と誠と和をモットーに」と。

和彦新理事長は「変化に対応すること、社会的使命の自覚と地域の共存、そしてお客様と地域と従業員の和をもって、全身全霊発展につとめたい」と力強くあいさつ。

鏡開きと乾杯（柏井健一氏）が続き、京都上七軒の芸妓、舞妓のお座付き。北浪良佳さんの歌。そして藤田まこと親娘の歌と会場は盛り上った。

神戸市資源リサイクルセンター こうべ環境未来館 オープン



ごみ問題や地球温暖化防止対策を考えよう



ガラスびんをリサイクルしてできたタイルが使われている

今年6月、西区に神戸市資源リサイクルセンターがオープンしました。ごみとして出された空き缶、空きビン、ペットボトルを選別し、圧縮処理をして資源として活用できるようにするセンターです。でも、ちょっと待って。こんなに大きなリサイクルセンターを造らなければいけないほど、ごみが増えているのです。皆さんもごみ問題について考えてみませんか。

リサイクルセンターの隣りに、地球温暖化防止やごみの減量・資源化に関する展示や、情報を発信する「こうべ環境未来館」がオープンしました。子供も大人も楽しく学べる施設で、自由に見学することができます。

こうべ環境未来館の正面には、大きなプロペラがあります。これは風力発電装置。館の屋根には太陽光発電装置がついていて、環境にやさしい新エネルギーを実際に見て学ぶことができます。正面玄関の前には、市民や子どもエコクラブの皆さんが参加してピオトープづくりをしています。ピオトープとは、魚や植物などが集まり自然に繁殖できる場所のことで、少しずつできあがっていきます。こうべ環境未来館では、同時に、自然とともに生き、自然に生かされ



↑子供たちが参加して造りはじめたピオトープ
←高さ12mの風力発電装置

ているということも学ぶことができるのです。

館内には、クイズ形式で、ごみの出し方のルールやごみを減らす方などを学んだり、隣接するリサイクルセンターの、選別・圧縮作業を見学することができます。その際「NPO法人社会還元センターグループわ」の皆さんが、案内や講座などを担当します。こうべ環境未来館は、市民主体の環境教育を進めるため、その運営を、市民グループに委託しているようです。

館内には、他にも、粗大ごみとして出された大型家具や自転車などのうち、まだ使えるものを修理して提供しています（有料・抽選）。そして、環境局やこうべ環境未来館が主催する環境大学や、自転車修理教室などの環境学習講座が開かれています。また、自然環境や



NPO法人グループわのメンバーによる案内

ごみ問題に興味がある子供さんには「KOBECごもエコクラブ」への入会をおすすめします。大人1人以上がグループ（小中学生2人以上）に参加していれば、誰でも無料で登録でき、入会すると会員手帳・バッジがもらえ、ニューズレターやイベント案内などの情



まだまだ使える家具や自転車は、修理して市民に提供

報が送られてきます。

こうべ環境未来館

神戸市西区見津が丘1丁目

（神戸電鉄木津駅下車徒歩5分）

入場無料（団体要予約）

開館時間 9:00～17:00

水曜休館（祝日の場合は翌日）

☎078-995-3196

<http://www.kobe-nitaiikan.com>

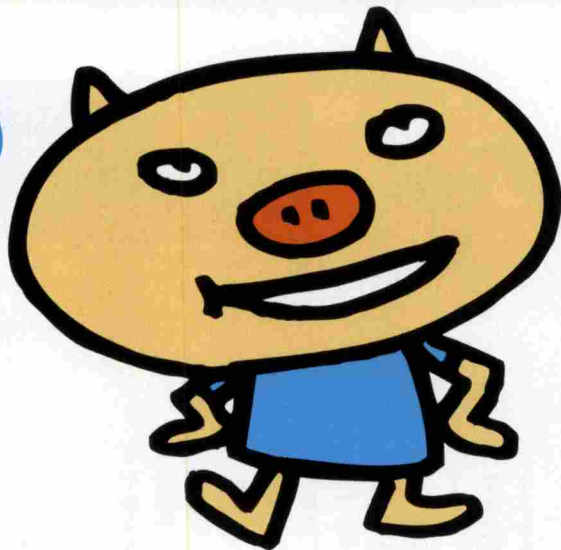
トコトン
かたこ

← ところでこの子は誰!? (答えは次のページ...)

はじめまして
“ワケトン”です

11月から
新しい分別収集(6分別収集)が始まります

**減量・資源化を進めて
環境にやさしいまちに!**



ごみはトコトン分別知トン

プロフィール 神戸生まれで、実はとってもキレイ好きなミニブタの「ワケトン」。全国を旅して、久しぶりに神戸に帰ってみると、近所でごみのマナーが守られていないことに憤慨!仲間と協力して、町のみんなにごみの排出区分やルールを説明したり、ごみの日にキチンとルールが守られているかをチェックしてまいります。

ワケトンは、11月から始まる6分別収集をアピールする、分別徹底キャンペーンのキャラクターです。みんながルールを守らないので、少しお怒り気味!

6分別収集は、従来の「荒ごみ」を中心に、家庭から出るごみの分別を抜本的に見直したものです。ごみとして出してしまうは、ただのごみ、しかし家庭できちんと分別すれば、それは大切な資源になるのです。

こうべ環境未来館で環境問題を学んで、家庭でも、ごみの減量やリサイクルに取り組みましょう。

変更後(6分別収集)

現行

缶・びん・ペットボトル
(月2回収集)

大型家具・自転車(電話申込制)
[東灘・灘・長田・西で実施]

荒ごみ(燃えないごみ・大きなごみ)
(月2回収集)

家庭ごみ(燃えるごみ)
(週2回収集)

①缶・びん・ペットボトル(月2回収集)

②大型家具・自転車(電話申込制)全市実施

③粗大ごみ/金属系ごみ(月1回収集)

④燃えないごみ

⑤カセットボンベ・スプレー缶
「④燃えないごみ」とは別袋で「ケケン」と表示
(④⑤は同じ日に収集 月1回収集)

⑥燃えるごみ(週2回収集)

分別徹底キャンペーンに関する
問合せ先

神戸市環境局

減量リサイクル推進課

☎ 078-322-6434

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/24/>



みんなで築く循環型社会をめざして

■クリーン神戸リサイクル株式会社■

当社は、神戸市の第3セクターとして、
廃棄物の処理・処分・再資源化、環境調
査などの業務を行ない、公害防止、環境
保全を通じて地域社会に貢献しています。



環境調査をお受けします。

大気、騒音・振動、水質などの環境調査や環境アセスメント業務を実施しています。



大気観測車による測定



海域における水質調査

産業廃棄物の処理に関する ご相談を承っております。

産業廃棄物（汚泥、金属くず、廃蛍光灯、廃乾電池
など）の収集運搬を行なっています。



焼却灰の運搬船への積み込み



廃乾電池の運搬

…お問い合わせは下記までどうぞ…

〒651-6591 神戸市中央区浜辺通5丁目1番14号（神戸商工貿易センタービル7階）
TEL.078-251-5461（代表） FAX.078-261-2359